

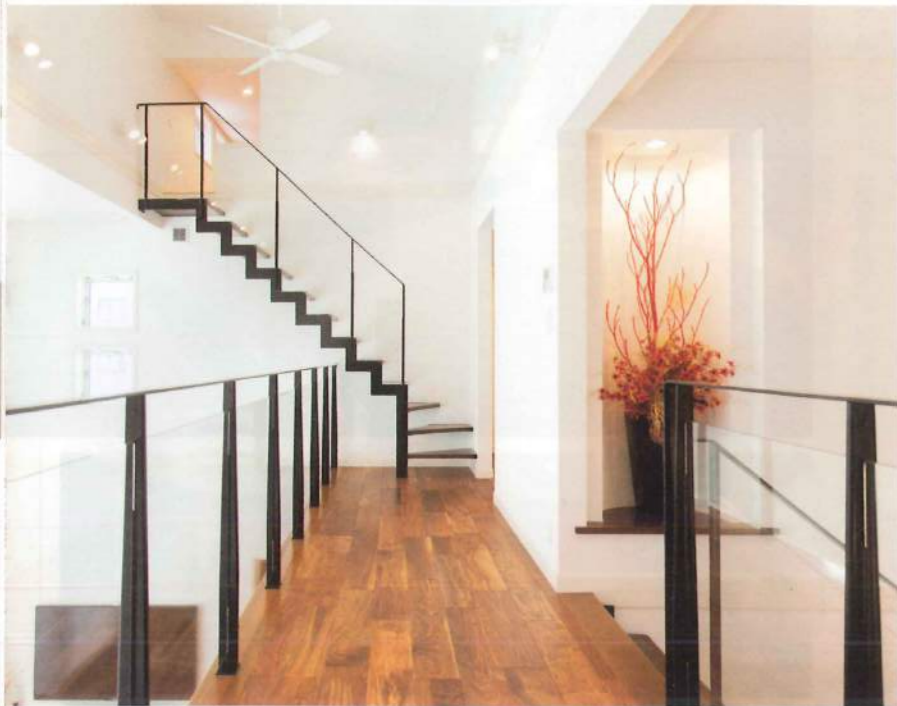
住まう愉しみを求め プロと磨き合い、創り上げた 美しい邸宅

たくさんの想いが込められる住まい
快適、夢、くつろぎ、美、家族の笑顔…
オーダーメイドの家は
どのようにして、想い満たされるわが家へと
創り上げられるのだろうか。
2年半の準備・建築の時を経て
昨年末に入居されたという
一家4人と愛犬のお住まいを訪ねた。

Report

仙台市宮城野区
H様邸





2階廊下からロフトへの階段を見る。外観と同じ純白の壁に手すりのブラックが漂とした空間を創り出す。天然木の温もりとアートの華が香り立つよう

超高断熱2×6ウォールと健康空調システムで、さらに健康・快適な住まいへ

高い断熱性を誇る2×6ウォールと、花粉やPM2.5を除去する空気清浄機能も備えた、健康空調システム「スマートブリーズ」を組み合わせ、さらに健康的で快適な住まいを実現。

上ノ落とし天井がエレガントな雰囲気をかもし出すダイニング。リビングとの間の造作家具はリビングからもダイニングからも使える収納家具。さりげない目隠しにもなる。窓の外には木々がゆらぎ、奥様がほっとする場所下ノ動線も快適なキッチンには、見せない収納スペースもたっぷり確保

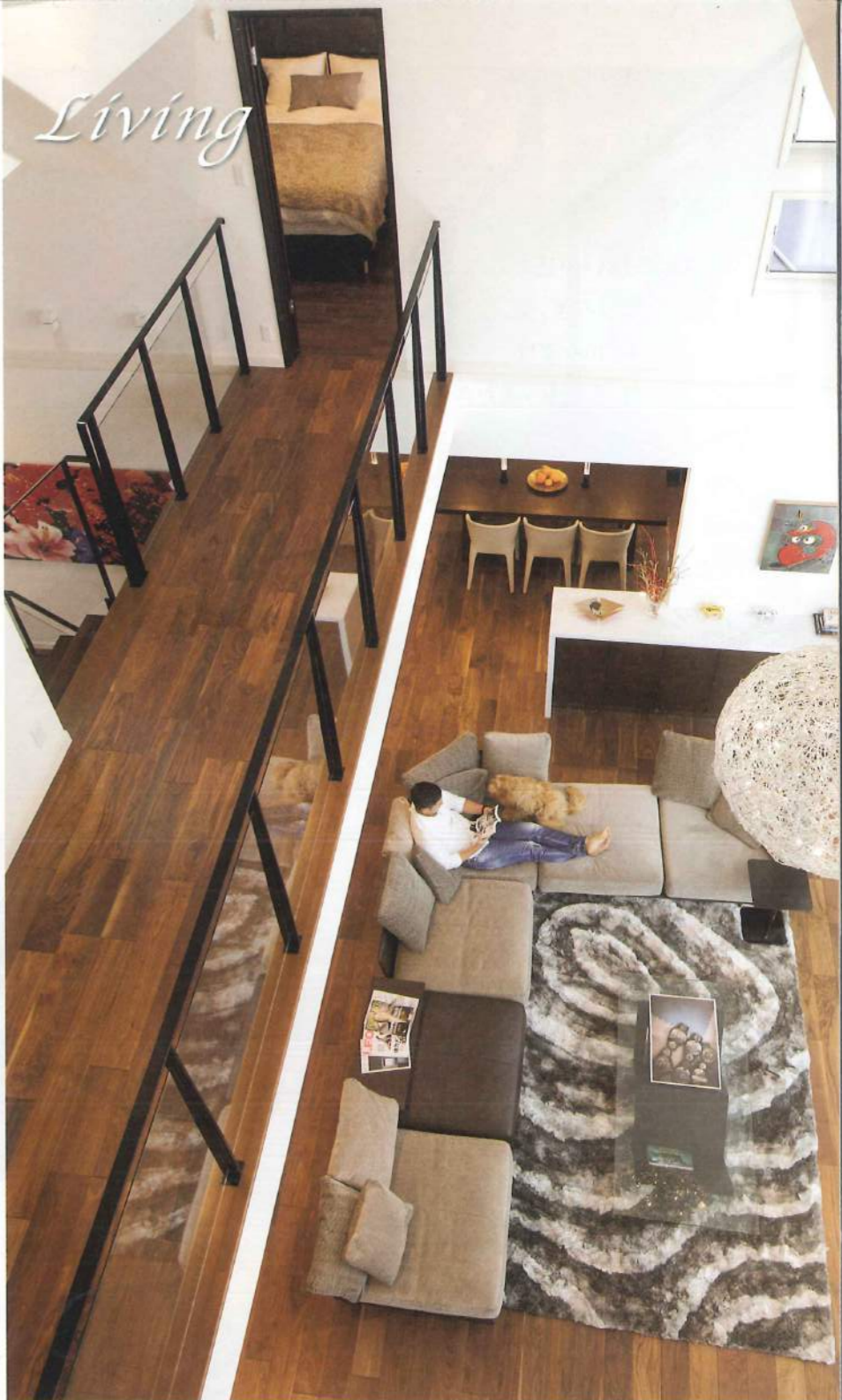


驚異の耐震性

生命を守る卵の殻のように、強く、優しく、人を包み込む、モノコック構造。床・壁・屋根の面全体で地震力を分散し、ねじれや変形が起こりにくい構造で、スペースシャトルや航空機などのボディにも採用されている。三井ホーム設立以来、地震の揺れによる全・半壊は1棟もない。



右ノご趣味は?との問いに、「仕事に興味、趣味が仕事です」とご主人。それだけに、ここには極上のくつろぎがあり、家に帰るのが楽しみになったという。お子さまの一番のお気に入りであるロフトの階段から大空間を見る上ノスケルトンの階段は、天窗からの採光で一層明るく軽快に。階段下の余裕スペースに愛犬のゲージがびっぴりおさまった



お子さんの成長を考え、そろそろ一戸建てを、土地は震災前から購入されていたそう。本格的に家づくりをスタートしたのは2年半ほど前。紫山展示場で奥様のお気に入りだったのが、三井ホームのモデルハウス(フィルクオート)だったとのこと。「外観もインテリアも、そして「スマートブリーズ」も希望にぴったりでした。「素材の良さ、そして何よりその家づくりの姿勢に共感でき、三井ホームさんに決めました」とは、ご主人の弁。

大空間とパブリックな要素が強い住環境のカナダで育ったご主人と、ハレと日常が区別された日本家で育った奥様。共にジーンズをスタイリッシュに着こなすご夫妻でも、住まいに関する好みは全く違ったと笑う。開口部が大きく開放感のある空間を希望されたご主人と、頭に近いところに天井があった方が落ち着くという奥様。そこで提案されたのが、リビングの吹き抜けと床から天井までのガラス張りの採用、一方、奥様が多くの時間を過ごすダイニングとキッチンは、普通の天井高にすることだった。

玄関ホールからひと続きになったリビングやピアノ室も、間の厚い壁の中に間仕切りが収まり、いつでも独立した空間に変えられる設計になっている。お二人の好みを受けとめ、相反するように思える要望に応えていったの

大きな開口部、立体的につながる明るくあたたかな、快適大空間

白亜が映える佇まいは、どこか地中海の家を連想させ、それでいて街並みにしっくりとけ込んでいます。お洒落なエントランスから玄関に入ると、迎えてくれたのは圧倒的な開放感、そして心地よいあたたかさ。ご家族の笑顔だった。

リビングは吹き抜けになっており、庭に面する側は床から天井まで全面が開口部。その向こうには緑に彩られたデッキ、そして街並の風景の上に美しい空が広がっている。「プラインドを開けると、まるで外にいるような解放感を感じるんですよ」と奥様。

やさしい風合いの天然木の床が、ピアノ室、ダイニングルーム、キッチンへと緩やかにつながっていく。階段には、ガラスを用いたスケルトン・ステップを採用。2階の各部屋をつなぐ廊下は、まるでブリッジギャラリーのような趣だ。白壁には個性的なアート作品が飾られ、さながら美術館のような雰囲気がある。さんと陽ざしがふりそそぐ広々とした住まいには、洒落た遊び心と上質のくつろぎが満ちていた。

性能や素材そして「家づくり」への信頼感

昨年12月に入居されたご家族は、日様ご夫妻と小学生のお子さん2人、そして愛犬。

Creative Partner.

クリエイティブパートナー

住まいを創り上げるという一大プロジェクトに集う、
プロフェッショナルたち

Project Leader



「楽しみながら
サポートさせていただきました」

プロジェクトリーダー 伊藤 太郎 さん

H様ご夫妻と打ち合わせさせていただくのは、いつも楽しかったですね。意志と行動力あふれるご主人、そしてしっかり話し合われるご夫妻。そのご要望を受けとめて、プロのスタッフたちと仕事を進めるのはとてもやりがいがありました。

Architectural Consultant

「光と緑を取り入れる大開口、それを受け入れる大空間と軽やかでモダンなインテリア。こだわりの住まいです」

建築家 吉田 裕一 さん

大きな開口部、パーティーもできる広さのリビングなど、オーナー様の要望に応えながら、新しい街並みに建つ邸宅として、モダンであっても決して華美に走らない、凛とした中に豊かなくつろぎのある住まいが実現できたと思います。



Interior Coordinator



「造作家具の浮遊感などの、
ディテールにもこだわりました」

インテリアコーディネーター 庄子 享子 さん

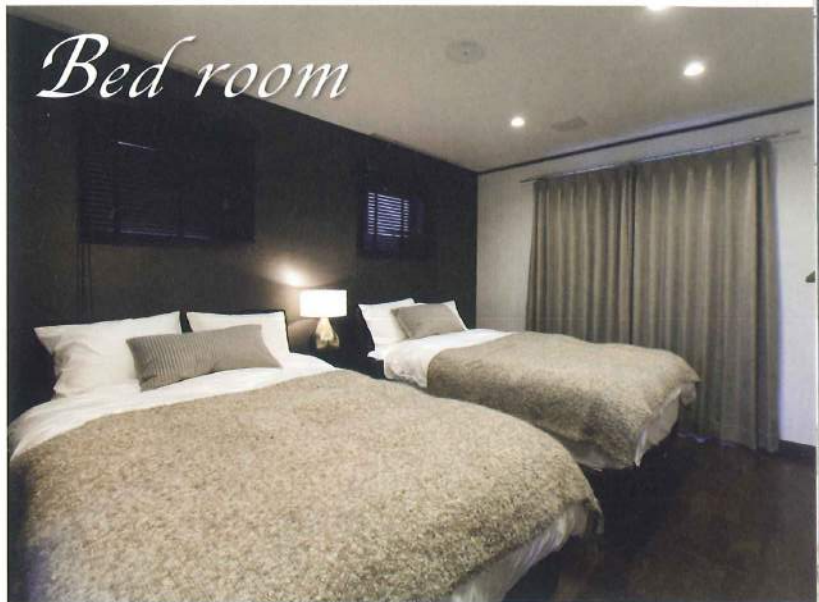
天井までの全面ガラスやスケルトンの階段、軽やかな空間づくりに合わせて、例えばテレビ台も浮遊感を持たせるなど、造作家具もディテールにこだわりました。引き渡し後、さらにセンスアップされて暮らしがいらっしゃるのが嬉しいですね。

Exterior Designer

「季節ごとに花や実をつける木々も、
暮らしを豊かに彩ります」

エクステリアデザイナー 菊地 政俊 さん

門からのアプローチが緩やかに玄関とデッキに続きますが、細部にまでご主人の美意識が貫かれていて、私自身、勉強になりました。植栽は、びわ、オリーブ、みかん、ベリーなど花が咲き実のなる樹種をお選びになったので、季節毎に楽しめますことでしょう。



Bed room



リラックスできる寝室、それぞれの夢を育むお子さんたちの部屋。プライベートルームの一部屋一部屋にも、家族の暮らしをつつむ住まいへの思いが貫かれている

が、三井ホームのクリエイティブパートナーの皆さん。プロジェクトリーダーである営業の伊藤太郎さんを中心に、建築家の吉田裕一さん、インテリアコーディネーターの庄子享子さん、エクステリアデザイナーの菊地政俊さんという4人のプロフェッショナル集団だ。

オーナー様の夢を共有した クリエイティブパートナー

「話をよく聞いてくれて、ひとつとして中途半端な提案はなかったですね」とご主人。会社代表として、最高品質と安全を重視した仕事をしていらっしゃるH様。妥協なき施工主様の要望に応えるため、良い意味で刺激され、触発されたクリエイティブパートナー

の皆さんは口々に話す。リーダーの伊藤さんは、「H様は打ち合わせだけでなく、建築現場はもちろん植栽の樹木選びにも同行され、常に家づくりを見守ってくださいました」と振り返る。

既成概念にとらわれないH様ご夫妻。普段はなかなか実現できないというスケルトンの手すりや階段の提案も、快諾されたそう。外観・外壁の選定から、照明、手すりなどひとつひとつに至るまで、クライアントが求める理想の家づくりに、プロの力を注ぎ込んだ結晶がH様邸である。

新しい家で新年を迎えて3ヵ月。真冬に家に帰ってくると、心地よいあたたかさにはっとすると言う奥様の、お気に入りの場所はダイニングルーム。「みかんやオリーブ、ベリーの緑が風に揺れ、ここに座ると街なかに住んでいることも忘れてほっとするんです」

インテリアコーディネーターの庄子さんがいうように、引き渡し時よりさらに空間が素敵になって、充実した日々を過ごしていらっしやるのがご家族の様子から伝わってくる。「夏には子どもたちとパーベキューもしたいし、仕事関係などゲストを招待してパーティーも開きたいですね」とご主人。

ご家族のさまざまな生活シーンを大らかにつつみこみながら、この住まいはますます豊かな輝きを増していくことだろう。